

安全データシート

会 社 : 株式会社 フジコー
 住 所 : 伊丹市行基町1丁目5番地
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 072-772-1837
 F A X: 072-772-5061
 作 成 日 : 2011年3月23日
 改 訂 日 : 2023年2月20日

[SDS番号 660]

製品名	QD6002		
危険有害性の要約	<p>GHS分類 分類基準に該当しない</p> <p>PRTR対象化学物質 2023年4月1日施行</p> <p>第一種指定化学物質 N-メチル-2-ピロリドン(NMP) (No.746) 含有率<3.0%</p> <p>危険有害性 : 生殖毒性をもつ1-メチル-2-ピロリドン (NMP)を含有します。</p>		
組成および成分情報	<p>単一製品・混合物の区別 : 混合物</p> <p>化学名 : ポリメタフェニレンイソフタルアミド Cas No. 25765-47-3 化審法 7-1972</p> <p>N-メチル-2-ピロリドン(NMP) Cas No. 872-50-4 含有率<3.0% 化審法 5-113</p> <p>繊維油剤他微量成分</p>		
応急措置	<p>眼に入った場合 : 直ちに清浄な多量の水で洗浄して下さい。 不快感が残ったり、眼に炎症を起こした場合には、眼科医の診療を受けて下さい。</p> <p>皮膚に付着した場合: 取扱い後は、清水、石鹼で洗って下さい。</p> <p>吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移して下さい。 症状により医師の診断を受けて下さい。 濃い蒸気を吸入しますと頭痛、めまい、吐き気等を催すことがあります。 高濃度のNMP、または、繊維油剤の分解生成物を吸入した場合は、速やかに室外の新鮮な空気に触れ、医師の診断を受けて下さい。</p> <p>飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、吐かせて下さい。また、医師の診療を受けて下さい。</p>		
火災時の措置	<p>消火方法: 一般火災と同じ消火方法を適用できます。 強制的に燃焼させれば、条件次第では一酸化炭素、シアン化合物とアルデヒドアンモニア、化学残渣(そのうち幾つかは有害あるいは刺激性がある)が発生する</p>		

<p>可能性がありますので、完全な呼吸装備を着用して下さい。</p> <p>消火剤 : 水、炭酸ガス、泡沫消火剤、粉末消火剤、AFFF(水成膜泡消化薬剤)が有効です。</p>													
<p>漏出時の措置</p> <p>清掃し除去して下さい。決して、河川や公共水路等に流さないで下さい。</p>													
<p>取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い : (1)繊維の破片及び埃を吸入しない様に、また目に入らない様に、適切な保護具を着用して作業して下さい。(サイドシールド付保護眼鏡等)</p> <p>(2)火気を避けて下さい。</p> <p>(3)転倒、落下、衝撃を与える等の乱暴な取扱いをしないで下さい。</p> <p>(4)本製品を室温で扱うときにはNMPの発生はほとんどありませんが、加熱による大気への放出や、染色時あるいは後処理時等にはNMPが溶媒へ抽出される為NMPの皮膚への接触や呼吸による吸入、又は眼への刺激を生じる恐れがあります。取り扱いに際しては適切な保護具を着用し、取扱い後は手を洗い、加熱工程においては十分な排気を行う等の注意が必要です。</p> <p>保管 : (1)包装は密閉し、直射日光、雨水等をさけ、室内に保管して下さい。(劣化の恐れがあります。)</p> <p>(2)積み上げる場合は、荷崩れしない様に注意して下さい。</p>													
<p>曝露防止措置</p> <p>管理方法: 該当基準なし</p> <p>許容濃度: 該当基準なし</p> <p>保護具 : 防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣類等定められた保護具を着用して下さい。</p> <p>設備対策: 繊維の破片、粉塵の飛散、および繊維油剤の分解生成物の曝露を防止する為排気、換気、集塵設備を使用して下さい。</p> <p>本製品を加熱する工程ではNMP蒸気が発生する為空気循環は避けて、排気設備による排気が必要です。</p> <p>本製品の染色時あるいは後処理には、条件によりバス中にNMPが抽出されるので廃液は廃水処理設備にて処理する必要があります。</p>													
<p>物理的及び化学的性質</p> <table border="0"> <tr> <td>色相</td> <td>: 生成り</td> <td>臭気</td> <td>: 軽微</td> </tr> <tr> <td>融点</td> <td>: なし</td> <td>熱分解温度</td> <td>: 約400°C(メタアラミド繊維)</td> </tr> <tr> <td>引火点</td> <td>: なし</td> <td>発火点</td> <td>: なし</td> </tr> </table>		色相	: 生成り	臭気	: 軽微	融点	: なし	熱分解温度	: 約400°C(メタアラミド繊維)	引火点	: なし	発火点	: なし
色相	: 生成り	臭気	: 軽微										
融点	: なし	熱分解温度	: 約400°C(メタアラミド繊維)										
引火点	: なし	発火点	: なし										
<p>安定性および反応性</p> <table border="0"> <tr> <td>自己反応性: なし</td> <td>酸化性: なし</td> <td>粉塵爆発性: なし</td> </tr> <tr> <td>爆発限界: なし</td> <td>安定性: 常温では安定</td> <td></td> </tr> </table> <p>その他 : メタアラミド繊維は約400°C以上で分解が起こります。また、紫外線に長時間曝すと変質し、品質に影響を及ぼすことがあります。</p> <p>加熱すると繊維中に含まれる少量のNMPが放出される為、換気が不十分な状態ではNMPを吸入する危険性があります。</p>		自己反応性: なし	酸化性: なし	粉塵爆発性: なし	爆発限界: なし	安定性: 常温では安定							
自己反応性: なし	酸化性: なし	粉塵爆発性: なし											
爆発限界: なし	安定性: 常温では安定												
<p>有害性情報</p> <p>急性毒性 : 経口 (NMPの場合) LD50(ラット) 4,150mg/kg</p> <p style="text-align: right;">類似の構造又は組成に基づく</p>													

	<p>吸入 繊維の破片、粉塵の飛散、および繊維油剤の分解生成物を吸入することにより健康障害を引き起こす可能性がある</p> <p>経皮 特別なケースとして皮膚の炎症を起こすこともありえる</p>
皮膚腐食性	: データなし
皮膚刺激性	: わずかな刺激を感じることもある (NMPの場合) 少量でもその部分が脱脂される。皮膚から吸収され湿疹系の皮膚炎を起こすことがある
眼刺激性	: 繊維の破片、粉塵の飛散、および繊維油剤の分解生成物により異常を感じることもある (NMPの場合) 刺激し、結膜炎を起こす
感作性	: データなし
特定標的臓器毒性-単回暴露	: データなし
特定標的臓器毒性-反復暴露	: (NMPの場合) ラットを用いた暴露試験(吸入)では呼吸困難、死亡の増加、肺炎、骨格形成不全、胸腺のリンパ組織の萎縮が認められた。
癌原性	: データなし
変異原性	: データなし
催奇形性	: データなし
生殖毒性	: (NMPの場合) 動物を用いた暴露試験(経口)では、出生率の低下が起きたり、出生時の平均体重が小さくなったり、奇形が生ずる場合がある等の生殖毒性及び発生毒性の結果が認められている。
その他データ	: データなし
<p>環境影響情報</p> <p>分解性: 知見なし</p> <p>畜毒性: 知見なし</p> <p>魚毒性: 知見なし</p> <p>その他: 本製品は本質的に非生分解性である。本製品を加熱処理した場合には、付与されている表面処理剤等が揮発したり分解することがある。 加工処理等に水を使用される場合、発生した廃水は当該地域の規制に則って廃水処理をする必要がある。</p>	
<p>廃棄上の注意</p> <p>自治体の許可を受けた廃棄物業者に依頼して下さい。</p> <p>廃棄物処理に関する法律に従って下さい。</p>	
<p>輸送上の注意</p> <p>(1) 梱包材が破損することがありますので乱暴な取扱いをしないで下さい。</p> <p>(2) 輸送中に荷崩れしない様に注意して下さい。</p> <p>(3) 梱包材が破損しますので手鉤を使用しないで下さい。</p> <p>(4) 水に濡れたり、直射日光が当たらない様に注意して下さい。</p>	

主な適用法令

N-メチル-2-ピロリドン(NMP)について記載。

労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物

PRTR法： 2023年4月1日施行

第1種指定化学物質 N-メチル-2-ピロリドン (No.746)

化審法： 優先評価化学物質

REACH高懸念物質(SVHC)： 0.1%を超えて含有する(<3.0%)

記載内容の取扱いについて

この安全データシートの記載内容は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提として、一般に入手可能な文献及び自社データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価に関しては必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。

注意事項は、通常の取扱いについて記述したものであって、安全を保証するものではありません。従って、ここに記載した製品の特別な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

注意：医学的用途で、人体に移植及び恒久的に体液と直接接触する用途に使用しないで下さい。